

胃瘻造設術クリニカルパス

入院から手術、退院までのスケジュールです。お子さまの状態、術式により変更場合があります。

経過	手術前日	手術当日		術後1日～4日	術後5日～10日(退院)
		手術前	手術後		
食事	夕食まで普通に食べたりミルクを注入することができます。	ごはん、パンなどの固形物は食べられません。 * 水分制限があります必ず看護師にご確認ください。 * 水分の種類、時間を確認の上、水分量を水分表に記載していただきます。	何も飲んだり食べたり出来ません。胃瘻からは内服薬のみ注入します。	本人の様子を見ながら開始します。経口摂取ができる方は水・お茶・スポーツドリンクから、5分粥、全粥、普通食へとすすみます。飲めない方は胃瘻からソリタ水50ml/回から開始し、問題がなければ普段のミルク量の1/4量から、1/2、3/4、普段の量に量に戻していきます。	普段の食事摂取やミルクの注入が可能です。
安静	安静の制限はありませんが、病棟で過ごします。	前投薬内服後は足元がふらつくのでベッド上で過ごします。	ベッド上安静です 点滴や胃瘻等を引っ張ったり、踏んだりしないよう注意してください。	病棟内で過ごします。 胃瘻部分を引っかけたりしないように、保護する目的で腹巻を着用します。(本人の腹囲にあった腹巻をご用意ください)	
保清		なし		清拭や洗髪を実施します(隔日)	シャワー浴可能です(隔日)
創部処置	夕方と眠前に浣腸を実施します。	起床後に浣腸を実施します。	胃内を空っぽにするために、胃瘻を開放にします。胃瘻から出血がないかを観察していきます。 痛みが強いとき、熱があるときは、医師の指示に従い、注射や内服や座薬を使用します。 浣腸も引き続き行います。	手術翌日からご家族に、胃瘻の管理方法や胃瘻からのミルクの注入方法、内服薬の実施方法を指導させていただきます。術後5日目にはシャワーが可能となりますので、その日までに何時頃の面会が可能か看護師にお知らせください。(実際にシャワー浴しながら指導させていただきます) 主治医が毎日診察し、必要時に消毒を実施します。状況に合わせて胃瘻の開放を終了します。 浣腸は3回/日で実施します。 痛みが強いとき、熱があるときは、医師の指示に従い、注射や内服や座薬を使用します。	
注射薬			手術室で点滴をしたまま帰室します。	点滴は継続します。	術後5日目に点滴が終了します。
内服薬	持参薬があれば看護師に報告してください。	最終水分までに必要時、持参薬を内服します。前投薬もあります。		持参薬を内服(もしくは注入)します。	